

(研修部：I 国際協力研修事業)

## 16 日本語・日本文化研修事業（日本語高等研修等）

### 1 目的

海外からの研修員等に対し、業務や研究及び日常生活に必要な日本語能力の向上や日本文化の理解の促進を図るとともに、国際協力・国際化の進展に寄与する（広島県からの受託事業）。

### 2 事業概要（平成9(1997)年度開始）

日本語・日本文化研修：海外からの研修員等を対象に日本語及び日本文化の研修を実施

### 3 平成30年度実績

研修名等			人数	実施期間	内 容
日本語 高等研修	2週間 集中 プログラム	A日程	8人	8/6～8/10 8/27～8/31	外国人留学生が大学院で研究活動を行うために必要な論文作成・発表、討論等の高度な日本語能力を習得するための研修
		B日程	11人	8/20～8/24 9/10～9/14	
	半年プログラム		7人	10/1～3/1	
海外日本語 教師養成 研修	中国・ ベトナム		中国：3人 ベトナム：3人	9/25～11/22	アジア・太平洋地域等の日本語教師を対象に、日本語教師に必要な日本語教授法の習得及び日本語運用能力の向上のための研修
	韓国		7人	1/7～2/1	

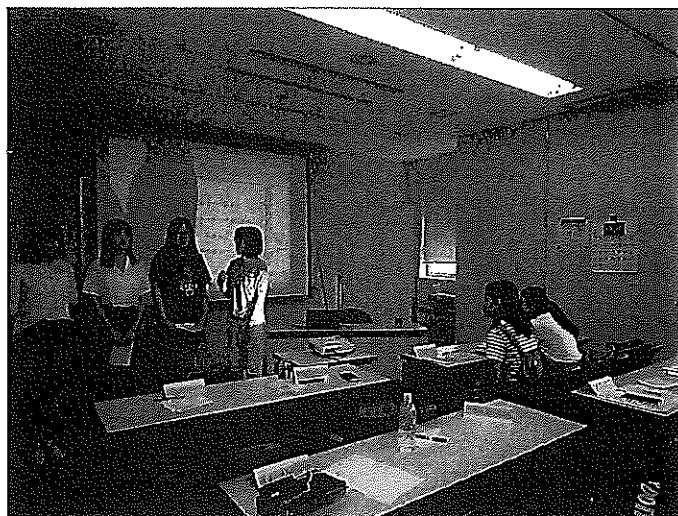


日本語高等研修 2週間集中プログラム

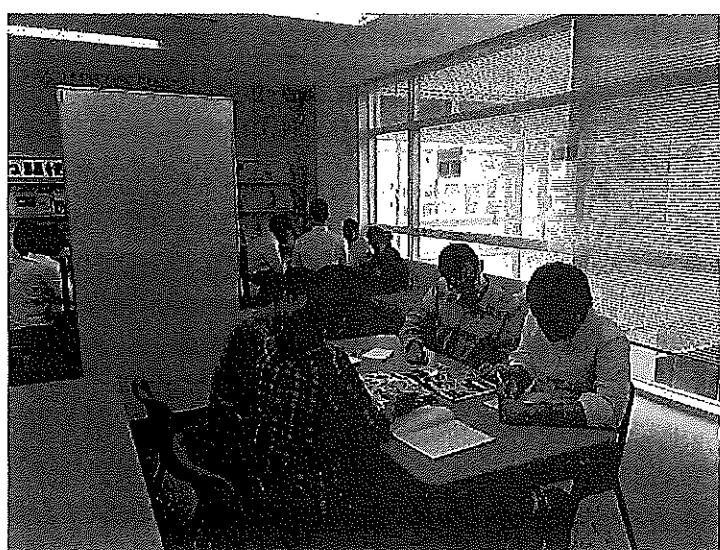


海外日本語教師養成研修

研修名等		人数	実施期間	内容
JETプログラム 日本語・日本文化研修		55人	8/27~8/31	JETプログラムにより広島県及び県内市町に派遣される海外の青年に対する日本語・日本文化事情研修
海外大学 日本語・ 日本文化体験 プログラム	楽山師範学院 (中国)		5人	10/22~12/14
	新安山 大学校 (韓国)	夏季	15人 (他引率1人)	6/24~7/11
		冬季	15人 (他引率1人)	1/8~1/26
	上海海洋大学 (中国)		8人 (他引率1人)	7/6~7/13



上海海洋大学（中国） 日本語研修



JETプログラム 日本語研修

## 17 日本語・日本文化研修事業（国際人材育成事業）

### 1 目的

海外からの学生等に対し、日本語・日本文化研修や生活支援等を実施し、日本への理解の促進を図るとともに、国際交流の進展や国際的な人材の育成に寄与する。

### 2 事業概要 ((1)～(3)：平成18(2006)年度開始、(4)：平成26(2014)年度開始)

#### (1) 青少年等日本文化体験研修

海外から教育旅行で広島県を訪問する青少年に対し、日本語の授業、日本文化体験、日本の歴史・産業の見学、及び地域住民・学生との交流の機会（ホームステイ・ビジットも実施）を提供する。

【5泊6日の場合の代表的な日程例】

日	曜日	時間	内 容
1日目	木	午後	福岡・大阪・東京等から到着 HIP チェックイン、開講式、日本語授業
		夕方	日本文化体験（浴衣の着付けなど）
2日目	金	午前	広島市内見学
		午後	（平和記念公園、マツダミュージアム、お好み焼き体験など）
		夕方	ホームステイ
3日目	土	終日	ホームステイ
4日目	日	午前	ホストファミリーとお別れ
		午前・午後	宮島（厳島神社）、もみじ饅頭づくり体験など
5日目	月	午前・午後	学校訪問 (生徒との交流、授業・クラブ活動参加など)
		夕方	日本文化体験（茶道など）
6日目	火	午前	閉講式 次の訪問地に向けて出発

【研修部で実施可能な日本文化体験の例】

茶道、生け花、折り紙、浴衣の着付け、絵手紙、書道、型染め、和食（巻き寿司など）、お好み焼き、和菓子、折り鶴アート、殺陣、竹とんぼ制作、日本の遊び（竹馬・けん玉等）



#### (2) 海外自治体・大学等国際化研修

海外の自治体職員や教育機関、大学の教職員、学生などに対する研修プログラム。ノンネイティブ日本語教師のための研修（日本語・日本文化・授業改善など）や、海外で日本語や日本文化を学んでいる人のための実践的な日本語研修などを行う。



#### (3) 企業等国際化研修

日系企業や日本と取引のある企業等が受け入れる外国人研修員に対し、HIP に宿泊しながら日本語や日本文化の学習の場を提供する研修プログラム。昼間に会社・工場などで技術研修を受け、HIP に帰つてから日本語クラスや日本文化体験を行うことも可能。また、企業からの要望に応じて、日本の生活を開始するためのオリエンテーション、健康診断、役所への届け出、銀行口座開設などの支援、日本語集中講義なども行う。

(4) グローバルリレーションズ・プログラム (G.R.P)

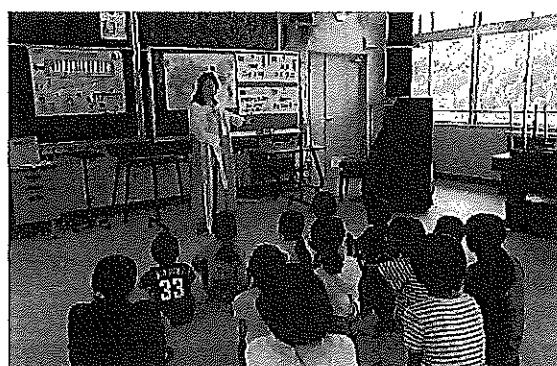
ひろしま国際プラザに入居して、所属の大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることができる外国人留学生のためのプログラムで、グローバル能力開発コースと生活基盤コースの2つのコースで構成する。

レジデントアシスタント (RA) の日本人学生を配置し、プログラムに参加する留学生を支援している。

区分	グローバル能力開発コース	生活基盤コース
ねらい	ひろしま国際プラザに入居して、次の能力を養う。 ア 日本語及び日本文化・事情理解 イ 次世代のリーダー、グローバル人材として必要な能力 ウ 多文化共生、協働、平和を希求する精神	来日あるいは転入直後の外国人留学生を対象に、一時的な住居及び基本的な生活情報を提供することにより、転入あるいは来日時の不安・負担の軽減を図るとともに、グローバル能力開発コースへの参加を促す。
プログラム内容等	ア 日本語のオフィスアワー ・ひろしま国際センターの日本語講師陣に日本語能力試験の勉強法などが相談できる。 ・日時：毎週金曜日 14時～17時 イ 地域交流等 ・ひろしま国際センター等が行う各種の地域交流イベントや研修事業へ参加し、イベントの中で自国の文化等を紹介したり、イベントや研修事業の運営を支援する。 ・実施時期：随時 ウ 留学生間の交流 RAの主宰のもと、定例的なミーティングを開催し、入居留学生の相互交流とともに、ひろしま国際センターの国際交流イベントへの協力や生活のことなどについて、情報交換を行う。	
参加期間	1年間（原則最大2年間）	1週間以上～1ヶ月以内
累計参加者	20ヶ国 延べ66名（平成31年3月末現在）	※生活基盤コースを除く。



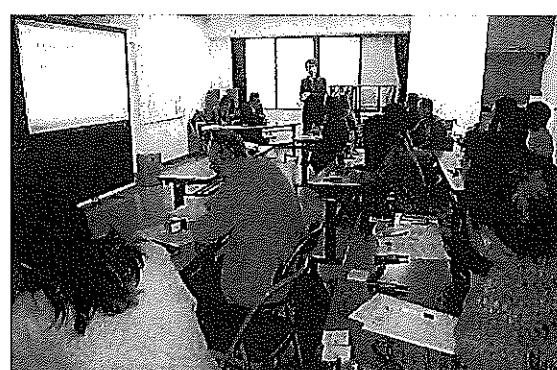
世界まるごと体験デー



出前講座



プログラム参加者たち



ピーストーク

### 3 平成 30 年度実績

区分	研修名等	人数 (内・外)	実施期間	備考
青少年等日本文化体験研修	Nagle Catholic College (豪州)	16人 (3人)	4/20~4/24 (4泊5日)	
	Beaudesert High School (豪州)	14人 (2人)	9/24~9/27 (3泊4日)	オーストラリア、米国の中学生・高校生を対象とした日本語・日本文化研修
	MacKillop & Sacred Heart College (豪州)	25人 (3人)	9/27~10/2 (5泊6日)	
	日本・アジア青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプラン) フィリピン高校生	15人 (3人)	6/10~6/19 (9泊10日)	科学技術振興機構が行う、科学技術分野において日本とアジア青少年が交流を行う事業
	日本・アジア青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプラン) 四川省・重慶市高校生	10人 (1人)	12/12~12/18 (7泊8日)	
	在外県人会後継者育成支援及び グアナファト青少年交流事業 (米国・ハワイ州、ワシントン州、カリフォルニア州、ペルー、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ・グアナファト州)	16人 (7人)	7/29~8/7 (9泊10日)	在外広島県人会及びメキシコ合衆国グアナファト州(平成26年11月に広島県と友好提携締結)の青少年を県が招へいし、文化体験や交流事業を通じ広島への理解を深めてもらうための事業
	グローバル未来塾 in ひろしま	23人	8/3~2/3 (HIP宿泊: 8/3~8/5)	将来、国際平和を希求し世界的に活躍できる人材となることを目指す高校生等を対象に、広島県が実施する、英語力、核軍縮や紛争解決などの国際的課題を学ぶプログラム
	広島 STEM 研修 (豪州)	13人 (2人)	12/2~12/8 (6泊7日)	広島県教育委員会と教育交流協定を締結している、豪州・クイーンズランド州から派遣された日本語、科学、技術、数学(STEM教科)を学ぶ高校生の日本語・日本文化体験、交流プログラム
	台湾・英語キャンプ in 広島 (台湾)	14人 (1人)	12/10~12/17 (7泊8日)	広島県教育委員会と台湾桃園市が共同で実施する「台湾・英語キャンプ in 広島」に台湾から参加する高校生を対象とした、日本語・日本文化体験、交流プログラム
海外自治体・大学等	香港専業進修学校(香港)	17人 (2人)	2/21~2/26 (5泊6日)	香港の職業専門学校学生を対象とした日本文化体験プログラム
	日本の教育システムと文化体験研修 (フィリピン)	19人	4/16~4/20 (4泊5日)	フィリピン大学ほか教育関係者を対象とした日本の教育現場視察と文化体験の研修
		28人	11/5~11/9 (4泊5日)	
企業等国際化研修	四川省環境保護合作事業 (中国)	3人	5/25~6/13 (3週間)	広島県と四川省環境保護庁が協定を結び、平成4年から継続している環境分野の技術交流事業の国内研修
	マツダ㈱ メキシコ人研修生日本語・日本文化研修	11人	5/30~8/5 (約2か月)	マツダ㈱メキシコ工場従業員に対する日本語・日本文化体験研修
	広島大学 インド大学生日本文化体験プログラム	15人	6/26~7/6 (10泊11日)	広島大学が招聘したインド人大学生に対する日本文化体験プログラム

区分	研修名等	人数 (内率・外数)	実施期間	備考
企業等国際化研修	広島国際大学 2018年度 夏 広島国際大学 Stay in Hiroshima 短期プログラム (蘇州大学 文正学院)	13人 (2人)	7/18~7/20 (3日)	広島国際大学提携大学の中国人大学生に対する日本語研修プログラム
	広島大学 「法学分野における夏季特別研修」 日本語・日本文化体験プログラム (ブラジル)	10人 (2人)	7/26~8/8 (2週間)	広島大学のブラジルでの海外協定校の1つであるサンパウロ大学の学生に対する日本語・日本文化研修
	㈱日本開発サービス シリア/平和への架け橋・人材育成プログラム (日本語研修)	20人 (帶同家族 11人)	8/8~9/7 (うち日本語 研修期間は 8/10~9/7)	来日直後のシリア/平和への架け橋 ・人材育成プログラム研修員と帶同家族に対する基礎的な日本語能力の養成を目的とした研修
	ユニタール 南スーダン研修員日本文化研修	25人 (2人)	9/3~9/12 (10日間)	ユニタール(国連訓練調査研究所)広島事務所が受け入れた南スーダンからの研修員に対する日本文化研修
	米国国務省日本語研修所 日本語・日本文化研修	4人 (2人)	11/7~11/11 (4泊5日)	米国国務省日本語研修所研修生が、ホームステイや日本文化体験等を通じ、日本語能力の向上を図るとともに日本文化への理解を深める。
	立命館アジア太平洋大学 「広島ピースツアー」	51人 (4人)	11/9~11/11 (2泊3日)	国際生(43人)及び国内生(8人)の平和学習と日本文化体験プログラム
	広島県国際課 日本語教員招聘事業 (インドネシア, 台湾, ベトナム)	3人	2/27~3/13 (14泊15日)	アセアンの大学等で日本留学の送り出しに積極的に取り組む日本語教員を受け入れ、広島県の留学環境のPRを行うとともに、県内大学とのネットワーク強化を図るために広島県が実施するプログラム
(G R P)	グローバル能力開発コース (長期)	新規11人 (継続19人 -外数)		(全体の内訳) 中国8人、ベトナム5人、iran2人、 インド2人、バングラデシュ2人、フィリピン2人、韓国・タイ・インドネシア・スリランカ・アフガニスタン・ナイジェリア・エジプト・シリア・メキシコは各1人
	生活基盤コース (短期)	4人		すべて長期へ移行
	レジデンント・アシstant (R.A)	新規1人 (継続2人 -外数)		日本人学生
合 計		381人		

## 18 國際協力機構(JICA)受託研修事業

### 1 目的

独立行政法人国際協力機構(JICA)中国センターが受け入れた、開発途上国の国づくりの中心となる技術者・行政官等への研修をHICが受託実施し、様々な分野の専門知識・技術等の移転を支援する。

### 2 事業概要

JICAから集団型研修コース等を受託し、広島県や県内の大学等と協力して実施する。

### 3 平成30年度実績

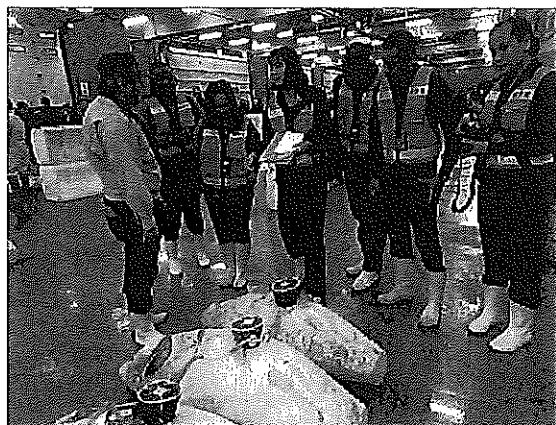
#### (1) 課題別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
地域水産業の持続的発展に寄与する行政官の実践的能力開発 【平成29年度】	11人	4/2～5/21	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な地域の水産業と関連産業の振興に寄与する水産行政官の実践的な能力開発を行うことを目的とする。</li> <li>・地域を核とした水産業の持続可能な発展に必要な漁村コミュニティの社会・経済的側面の基礎的分析、施策の実践例について、日本の現場での視察を通して理解する。</li> </ul> <p>【協力機関】水産庁、広島県、全国漁業協同組合学校、広島県漁業協同組合連合会、山口県漁業協同組合、地御前漁業協同組合 等</p> <p>【参加国】カンボジア、カーボベルデ、ガボン、インドネシア、モロッコ、ミャンマー、ナミビア、南アフリカ、トンガ、チュニジア、ベトナム</p>
紛争影響国における地域社会再建にかかる地方行政能労強化	8人	7/2～7/18	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紛争影響国において地域再建プロセスを担う地方行政官及び中央政府職員の政策・計画の立案・実施能力の向上を目的とする。</li> <li>・紛争影響国における地域社会の再建を通じた平和構築の取組みと、その中での地方行政・コミュニティの果たすべき役割を理解する。</li> </ul> <p>【協力機関】東広島市、神石高原町、いわき市、福島県、いわき明星大学、いわきおでんとSUN企業組合 等</p> <p>【参加国】アフガニスタン、パレスチナ、ソマリア、スーダン、南スーダン、JICAウガンダ事務所スタッフ</p>
エネルギーの高効率利用と省エネの推進	12人	7/17～8/24	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー政策の意義や政策立案の基礎などを学ぶとともに、日本がこれまでに培った省エネルギー関連の知識や技術、経験の習得を通じて、対象国において省エネルギー政策立案ができる人材を育成することを目的とする。</li> <li>・日本における省エネルギー行政の体系と取組を理解するための講義や、日本の省エネ技術と日本の省エネ推進活動の実例の視察、政策立案の演習などを実施する。</li> </ul> <p>【協力機関】中国経済産業局、広島大学、広島県環境県民局 等</p> <p>【参加国】アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、キューバ、エクアドル、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、パナマ、ペルー</p>
紛争影響国における国家建設	5人	7/23～8/3	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の事例を通じて安定した国家建設を適切に計画・履行するためのガバナンスのあり方に関する理解を高め、目指すべき国家像や治安分野を含む諸機関の中での行政官の役割を見直し、幹部行政官の政策形成能力を向上させる。</li> <li>・日本の統治機構や行政府・立法府・司法府の関係、国家安定に資する治安関連諸機関の機能を理解する。</li> </ul> <p>【協力機関】日本政治総合研究所、明治大学 等</p> <p>【参加国】コンゴ民主共和国、コートジボワール、南スーダン</p>

研修名	人数	実施期間※	研修概要
排水処理技術	8人	8/30～10/24	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本で実際に機能している排水処理システムの実例及びその整備プロセスを体系的に学ぶとともに、参加国間で課題や経験を共有、議論する中で、参加者が各国の排水処理状況を改善するための糸口をつかむことを目的とする。</li> <li>・「水環境保全の意義」「下水道計画・経営」「処理場の維持管理」「下水処理技術」等といったテーマについて、講義・視察・実習を通して自国に合った必要な知識・技術を学ぶ。</li> <li>・また、途上国に向けた技術の一つとして、UASB+DHS を紹介し、自力で実行可能な改善取組みへの意欲を向上させる。</li> </ul> <p>【協力機関】東広島市、広島大学、東北大大学、長岡科学技術大学、県内の除害装置を持つ企業 等</p> <p>【参加国】アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、コスタリカ、グアテマラ、ニカラグア、ペルー、メキシコ</p>
道路維持管理（D）	10人	10/31～12/5	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加国の経済発展に伴う急増する自動車交通需要に対応する道路整備について、日本の技術・知識・経験を活かし、効率的な維持管理計画の策定スキルを向上させることを目的とする。</li> <li>・PDCAサイクルを使って、予防的・効率的な道路整備や維持管理の方法を学ぶ。</li> <li>・道路維持、管理技術の現場の視察や実習を行う。</li> <li>・自国の維持管理の改善に向けた行動計画を作成する。</li> </ul> <p>【協力機関】中国地方整備局、広島県、東広島市、京都大学、大阪大学、拓殖大学、長岡技術科学大学、高速道路関係企業、NPO 等</p> <p>【参加国】カメルーン、コートジボワール、コンゴ民主共和国、エチオピア、ナイジェリア、タンザニア、ザンビア、ジンバブエ</p>
質の高い、持続可能な交通システムの推進	8人	11/26～12/13	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新たな日ASEAN交通分野における環境に関する行動計画」に列挙されている「質の高い交通」推進関連施策群等を理解し、各國における「質の高い交通」案件の推進に向けた具体的検討の推進を目的とする。</li> <li>・「質の高い交通」関連施策事例の講義・視察を通じて、「質の高い、持続可能な交通」のコンセプトを理解し、自国の交通セクターの課題解決に向けたアクションプランを作成する。</li> </ul> <p>【協力機関】国土交通省、広島大学、広島市道路交通局、広島市都市整備局 等</p> <p>【参加国】マレーシア、ラオス、タイ、フィリピン、カンボジア、ミャンマー</p>
ビジネスを通じた女性のエンパワメント	12人	1/10～2/15	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中米統合機構（SICA）加盟国とJICAが締結した技術協力4分野の内の「ジェンダー」について受託実施。当該分野の日本の政策及び広島県内地方部における地場産業と地域経済活性化の取組と女性の参画事例を学び、各國での事業実施支援の基盤を構築することを狙いとする。</li> <li>・SICAと加盟国、あるいは加盟国同士の情報共有や連携強化を図るために、日本での学びを元にしたワークショップやディスカッションを主軸とした研修を行う。また、帰国後の改善に向けアクションプランを作成する。</li> </ul> <p>【協力機関】県立広島大学、広島県、広島県内市町、ジェンダー推進に係るモデル企業・団体、女性起業家 等</p> <p>【参加国】コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ</p>

研修名	人数	実施期間※	研修概要
アフリカ地域 教師教育 (基礎教育分野)	12人	1/18~2/20	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仏語圏アフリカの教師教育改善の方策を検討し、初等教育の質向上を図ることを目的とする。</li> <li>・日本の教育及び教師教育に関する経験や現状を知ることを通じて、自分の組織の課題を明らかにし、その課題に対する改善計画を検討するための講義、視察、ワークショップなどを実施する。</li> </ul> <p>【協力機関】広島大学、広島県立教育センター、東広島市教育委員会 等</p> <p>【参加国】ベナン、ブルキナファソ、チャド、コートジボワール、ジブチ、ガボン、ギニア、マダガスカル、ニジエール、セネガル</p>
地域水産業の持続的発展に寄与する行政官の実践的能力開発 【平成30年度】	4人	3/4~4/15	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な地域の水産業と関連産業の振興に寄与する水産行政官の実践的な能力開発を行うことを目的とする。</li> <li>・地域を核とした水産業の持続可能な発展に必要な漁村コミュニティの社会・経済的側面の基礎的分析、施策の実践例について、日本の現場での視察を通して理解する。</li> </ul> <p>【協力機関】水産庁、広島県、全国漁業協同組合学校、広島県漁業協同組合連合会、一般財団法人広島県栽培漁業協会、横島漁業協同組合 等</p> <p>【参加国】ベナン、フィジー、ナミビア、タンザニア</p>
計10コース	90人		

※ 実施期間は、技術研修期間である。（出入国日、ブリーフィング・オリエンテーションは含まない。）



「地域水産業の持続的発展に寄与する行政官の実践的能力開発」

(東京都中央卸売市場 築地市場にてマグロ卸売場観察)



「質の高い、持続可能な交通システムの推進」  
(広島電鉄㈱ 車両基地にて被ばく電車観察)

(2) 国別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
コソボ 「コミュニティ開発を通じた生計向上と信頼」	10人	7/23~8/6	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバニア系が多数を占めるコソボにおいて、全住民共通の利益となる経済状況の改善に向け、少数民族（セルビア系等）も含む住民参加型の生計向上支援を展開し、住民同士の信頼醸成や地域経済の活性化を目指す。</li> <li>・中央省庁、地方政府、民間団体から地域振興に携わる人材を招聘し、日本の民間団体や地方自治体の地域振興に関する取組、平和や復興にかかる行政の在り方や官民連携についての学びを通じ、帰国後の活動に向けたアクションプランを作成する。</li> </ul> <p>【協力機関】広島ユネスコ協会、(有)平田観光農園、㈱いいろどり、NPO法人ゼロ・ウェイストアガーミー、(公財)徳島経済研究所、甲州市勝沼ぶどうの丘、(有)農業法人清里ジャム、(公財)キープ協会 等</p>
計1コース	10人		

※ 実施期間は、技術研修期間である。

(3) 青年研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
フィリピン 「地域における中小企業振興」	15人	1/28~2/8	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィリピンでは、近隣のタイやマレーシアに比べ外国企業の進出が遅れてきた現状があり、持続的な経済成長のため、地方拠点の開発や地域間の連携、農村地域における農業振興等、更なる雇用の創出と人材育成が求められている。</li> <li>・日本の現状を事例に、地域における中小企業の特質と課題を認識し、地域産業振興の具体的な支援手法や取り組み事例などについて知見を得ることを狙いとする。</li> </ul> <p>【協力機関】県立広島大学、中国経済産業局、世羅町、(有)平田観光農園、中小企業大学校、JETRO、西条・山と水の環境機構、道の駅ふおれすと君田 等</p>
計1コース	15人		

(4) 日系研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
観光果樹園経営及び果樹栽培技術（長期）	1人	5/13~11/17	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平田観光農園における実習や講義を通じて、果樹（イチゴ、スマモ等）の先端的栽培管理技術、加工技術、及び観光果樹園の経営手法等を学ぶことを目的とする。</li> </ul> <p>【実施機関】有限会社平田観光農園 【参加国】ボリビア</p>
理学療法（作業療法）による機能回復訓練	1人	10/5~11/29	<p>【内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者を対象とした機能回復訓練の医療現場での実習を通じて、訓練の流れやシステム、疾患別アプローチについて学ぶことを目的とする。</li> </ul> <p>【実施機関】広島県立障害者リハビリテーションセンター 【参加国】パラグアイ</p>
計2コース	2人		

※ 実施期間は、技術研修期間である。

(参考) 過去の JICA 研修受託実施状況

(単位：コース、人)

区分/年度	9~25	26	27	28	29	30	累計
コース数	191	13	11	15	14	14	258
研修員数	1,642	120	115	132	131	117	2,257

## 19 地域の国際化推進事業（地域交流イベント）

### 1 目的

県民が直接外国人と交流する機会を提供し、地域の国際化を推進する。

### 2 事業概要

多くの地域住民（在住外国人を含む。）が国際相互理解を深める機会として、「ひろしま国際プラザ（HIP）」に在館する研修員の協力も得ながら、様々な地域交流イベントを実施する。

また、国際交流・協力事業の地域ボランティアを養成するため、イベントでの通訳やホストファミリーなどの「HIC オレンジサポートー」登録制度を設け、積極的な参画を促進する。

### 3 平成30年度実績

#### 1 地域における国際交流推進事業

##### 【目的】

日本人住民に対する意識啓発、外国人住民に対する日本での生活上必要な種々の情報提供及び地域に暮らす外国人・日本人住民の交流機会の提供を行うことにより、地域における国際交流及び外国人住民が心豊かに暮らせるまちづくりの推進を支援する。

##### 1 子ども英語村

(1) 概 要 東広島市内や近郊に住むALT・CIRやひろしま国際プラザに滞在中の外国人留学生の協力により、遊びながら英語を学び、また異文化理解と多文化共生社会の推進を支援することを目的とする。

(2) 対象者 日本人住民（主に東広島市在住の語学・異文化理解に関心のある小学生）

(3) 実施状況

日 時	平成31年3月2日（土） 10:00～15:00
場 所	ひろしま国際プラザ ロビー（1階、2階、3階）
参加者	参加者 700名（約半数が子どもたち、残りは保護者等） ボランティア 34名（ALT・CIR 32名、HIC研修生 2名）
内 容	小学校に見立てたひろしま国際プラザ（HIP）で、参加者が、様々な授業を受けて、外国（英語圏）の小学校疑似体験をしました。



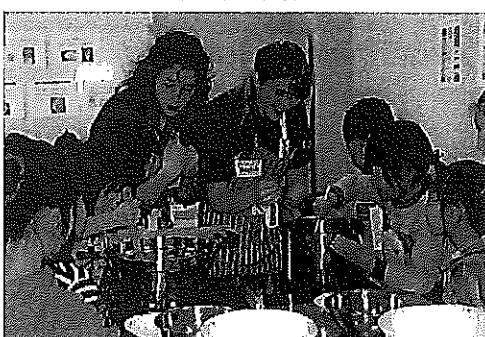
美術の授業



社会の授業



コンピューターの授業



クッキングの授業

## 2 「やさしい日本語」の普及

(1) 概要 外国人住民にとって理解が容易な「やさしい日本語」で話すための方法について講習会を開催することで、業務及び日常生活における外国人対応の一助とし、受入側の体制整備を支援する。

▽ 「やさしい日本語」の概略、ロールプレイによる実践練習

(2) 主な対象者 外国人への情報発信やコミュニケーションを行う自治体・企業職員（主に教育・福祉・保健分野の従事者）、住民自治協議会、地域メディア担当者、ボランティア等

(3) 実施回数・参加者数 3回 73名

(4) 実施状況

(1回目)

日 時	平成 30 年 5 月 17 日 (木) 14:00~15:30
場 所	東広島市役所（市議会第 1 委員会室）
対 象	東広島市議会 ASEAN（東南アジア諸国連合）研究会
参 加 者	24 名
内 容	「やさしい日本語」講座（講師：ひろしま国際センター日本語常勤講師 犬飼 康弘）

(2回目)

日 時	平成 30 年 11 月 10 日 (土) 9:00~11:30
場 所	黒瀬保健福祉センター
対 象	広島国際大学在学生及び一般市民
参 加 者	32 名
内 容	「やさしい日本語」講座（講師：ひろしま国際センター日本語常勤講師 犬飼 康弘）

(3回目)

日 時	平成 31 年 2 月 23 日 (土) 13:00~15:00
場 所	東広島市役所（市民協働センター）
対 象	三ツ城自治協議会西条中央支部
参 加 者	14 名
内 容	「やさしい日本語」講座（講師：ひろしま国際センター日本語常勤講師 池田 恵）



2月 23 日の「やさしい日本語」講座

### 3 外国人のための東広島バスツアーア

(1) 概 要 地域に対する理解を促進し、生活上必要となる情報を提供するためのバスツアーを開催し、外国人住民の生活の利便性・快適性向上を図るとともに、地域に対する愛着を増す機会とする。また、参加者同士のコミュニケーションを促し、住民同士のネットワーク形成の一助とする。

- ▽ 市内の主要観光スポットや生活に役立つ公的機関への訪問
- ▽ 地域行事等への訪問、地域住民との交流
- ▽ バス内でのレクリエーション等を通じた参加者間の交流

(2) 対 象 者 主に東広島市に在住する外国人住民

(3) 実施回数・参加者数 3回 外国人 113名、交流参加日本人 20名

(4) 実施状況

(1回目)

日 時	平成 30 年 10 月 20 日 (土) 8:50~17:40
参 加 者	外国人 40 名、交流参加日本人 13 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動中のバスの中で東広島に関するクイズを実施</li> <li>・豊栄町の小石川リンゴ園でリンゴ狩り</li> <li>・高屋町の白市で伝統の瓦葺き町屋を見学した後、白市交流会館で地域の人たちと交流</li> <li>・河内町の山陽自動車小谷サービスエリアの商業施設を見学</li> </ul>

(2回目)

日 時	平成 30 年 11 月 23 日 (金・祝) 8:30~16:10
参 加 者	外国人 39 名、交流参加日本人 6 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西条町の「広島大学宇宙科学センター 東広島天文台・かなた望遠鏡」を見学</li> <li>・河内町の農作物直販所「寄りん菜屋」で地域の人たちと交流しながらピザ作り</li> <li>・三原市大和町の「道の駅 よがんす白竜」を見学</li> </ul>

(3回目)

日 時	平成 31 年 3 月 23 日 (土) 8:20~17:20
参 加 者	東広島市に在住の外国籍の子どもたち 31 名、保護者 3 名、ボランティア 1 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊栄町の「トムミルクファーム」でアイスクリーム作り</li> <li>・福富町の「道の駅 湖畔の里 福富」で昼食</li> <li>・竹原市忠海中町の「アヲハタジャムデッキ」で工場見学</li> </ul>



10月 20 日、移動中のバスの中で東広島市に関するクイズに回答する参加者たち



10月 20 日、高屋町の白市交流会館で地域の人たちと交流



11月 23 日、河内町の「寄りん菜屋」で地域の人たちと一緒にピザ作り



3月 23 日、豊栄町でアイスクリーム作りを体験している外国籍の子どもたち

#### 4 外国人のための防災フェスタ

##### (1) 概 要

外国人住民、日本人住民の双方が、防災関連施設の見学やそこでの体験等を通じて、災害時の公助・自助・共助に関する知識や情報等を得る。また、互いに歩み寄りながら最大限意思疎通を図ることを目指してコミュニケーションする機会を設け、在住地域における人間関係づくりの契機とし、これらを通じて、外国人住民・日本人住民の双方が、平常時からの関係づくりの重要性を意識する契機とする。

▽ 被災事例、ハザードマップの見方、避難所の説明など（いずれも東広島市防災士ネットワークの防災士が説明）

##### (2) 対 象 者

主に東広島市に在住する外国人住民

##### (3) 実施状況

日 時	平成 31 年 3 月 16 日 (土) 10:00~12:10
場 所	ひろしま国際プラザ 3 階 306 研修室
参加者	26 名 (外国人 14 名、日本人 12 名)、ボランティア 3 名、防災士 4 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・「防災アドバイザー事業」を含めて実施 (講義: 外国人市民と防災)</li><li>・昨年の黒瀬町菅田地区の被災事例</li><li>・ハザードマップの見方とワークショップ</li><li>・避難所の説明とワークショップ</li><li>・災害時の情報収集方法</li></ul>



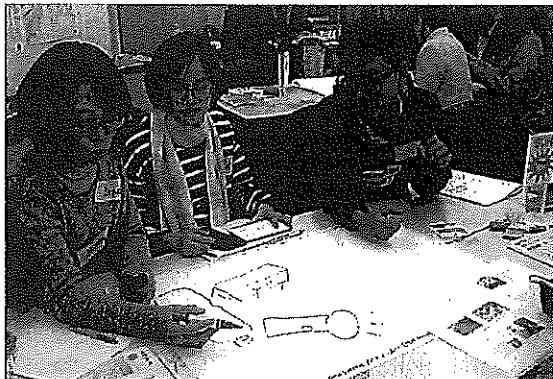
黒瀬町菅田地区の被災事例の説明



ハザードマップを使ったワークショップ



ワークショップの結果を発表



ワークショップ。避難所に必要だと思う 5 つの物を、みんなで考えて絵に描いてみる。

## 5 地域交流希望事業

- (1) 概 要 ひろしま国際プラザに滞在する研修員との交流を希望する人を広く一般より募集し、地域住民が主体となった国際交流活動を促進する。
- ▽ 日本の伝統芸能発表会、ミニコンサート、ロビーでの日本伝統文化の作品展示、スポーツを通した交流イベント など
- (2) 対 象 者 交流イベント等を計画している地域住民、ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 場 所 ひろしま国際プラザ ロビー・体育館・レストラン など
- (4) 実施回数・参加者
- |         |     |      |
|---------|-----|------|
| 伝統芸能発表会 | 9回  | 614名 |
| ミニコンサート | 9回  | 347名 |
| ロビー展示   | 9回  | 950名 |
| スポーツ交流  | 52回 | 878名 |



伝統芸能発表会（南京玉すだれ）



伝統芸能体験（次郎丸太鼓）

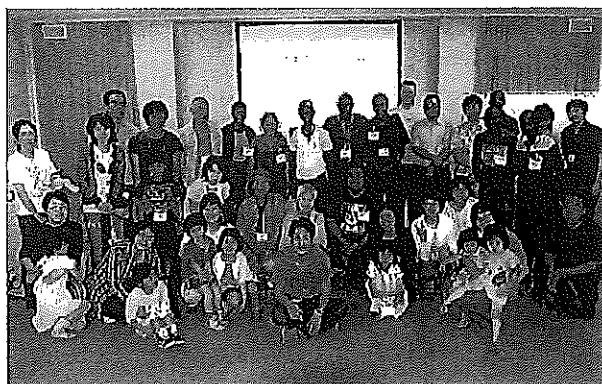
## 6 ホームステイ・ビジット講習会

- (1) 概 要 身近でできる国際協力・交流の手段として有益なホームステイ・ビジットについての講習会を開催し、日本人住民のホームステイへの関心を喚起し、またホストファミリー相互の連携及び情報共有を強化する。
- (2) 対 象 者 ホームステイ受入れに興味を持つ日本人住民
- (3) 実施状況

日 時	平成30年6月30日（土） 10:05～12:25
場 所	ひろしま国際プラザ 3階306 研修室
参 加 者	日本人36名、外国人12名（JICA研修員11名、HIC研修生1名）、ボランティア1名
内 容	・JICA研修員と受入家族がホームステイの様子を話し、参加者と質疑応答 ・HIC研修生がイスラム教について紹介し、参加者と質疑応答 ・参加者がJICA研修員とともに「マシュマロチャレンジ」ゲームで交流



受入家庭の方と一緒にホームステイの様子を話すJICA研修員



参加者のみなさん

## 7 外国人のための子育て交流会

- (1) 概 要 未就学児を持つ外国人・日本人住民の交流会を開催することで、孤立しがちな外国人保護者の子育ての悩みを解消し、外国人・日本人の垣根を越えた子育てネットワークづくりを支援する。
- (2) 対 象 者 未就学児を持つ外国人・日本人住民
- (3) 実施状況

日 時	平成 30 年 10 月 20 日 (土) 10:10~11:50
場 所	ひろしま国際プラザ 3 階 306 研修室
参加者	外国人 19 名、日本人 22 名、通訳ボランティアなど 6 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・アイスブレーキング</li><li>・工作 (ハロウィン帽子作り)</li><li>・ワークショップ (おすすめの場所などのマップ作り)</li><li>・各国の子育て事情 (フリートーク)</li></ul>



作成したハロウィン帽子を被った参加者



各国の子育て事情についてフリートーク

## 8 防災アドバイザー事業

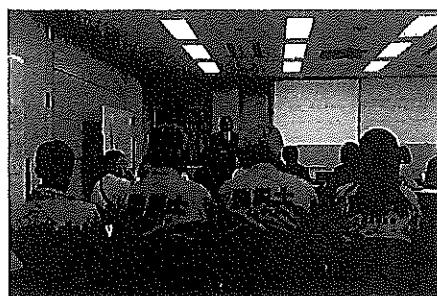
- (1) 概 要 地域に暮らす外国人住民への災害支援や外国人住民の防災意識を高める事業等に対しアドバイザーを派遣し、業務及び日常生活等における外国人対応の一助として受入側の体制整備を支援する。
- (2) 対 象 者 東広島市に在住する外国人住民を支援する機関・団体
- (3) 実施状況

(1回目)

日 時	平成 31 年 3 月 16 日 (土) 10:00~12:10
場 所	ひろしま国際プラザ 3 階 306 研修室
参加者	東広島市防災士ネットワーク 防災士 4 名、外国人 14 名、市民 15 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・外国人のための防災フェスタ (10:00~12:10) の中で実施</li><li>・講義：外国人市民と防災</li><li>・講師：ひろしま国際センター日本語常勤講師 犬飼 康弘</li></ul>

(2回目)

日 時	平成 31 年 3 月 20 日 (水) 13:30~15:30
場 所	御園宇地域センター
参加者	民生委員 14 名
内 容	<p>講義：やさしい日本語とは 講師：ひろしま国際センター日本語常勤講師 犬飼 康弘</p>



3 月 16 日、防災士や外国籍市民、日本人市民を対象に「外国人市民と防災」の講義

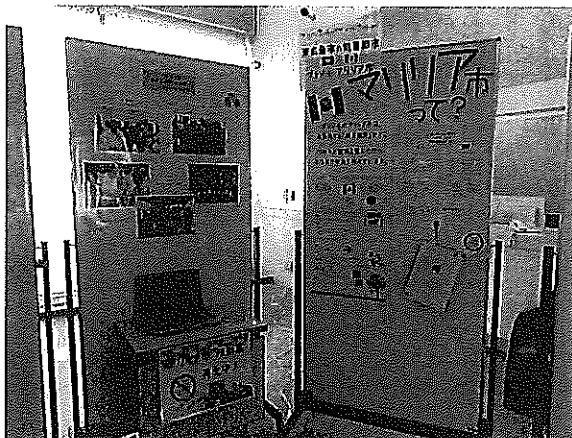


3 月 16 日の受講者の様子

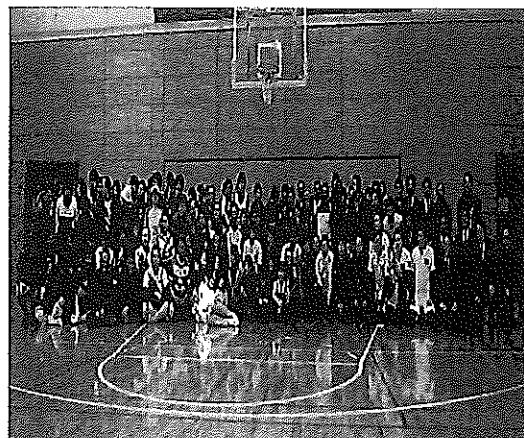
## 9 友好都市マリリア市PR事業

- (1) 概要 東広島市の国際友好都市であるブラジル マリリア市との友好交流を PR する。
- (2) 対象者 東広島市民、広島県民
- (3) 実施状況

日 時	平成31年2月9日(土)~2月17日(日)
場 所	ひろしま国際プラザ ロビー 情報センター・図書室 レストラン 体育館 グラウンド
参加者	・東広島市国際交流フットサルリーグ・マツダ会杯参加者 150名（うち外国人60名） ・ブラジルウィーク期間中のレストラン外部利用者数 568名
内 容	・写真・動画展示（1階ロビー） ・関連図書・CD展示（情報センター・図書室） ・ブラジルウィーク期間（2/9~2/17）中、ブラジル料理の提供（レストラン） ・東広島市国際交流フットサルリーグ・マツダ会杯への協賛 (2月17日(日), 体育館 グランド) ※ 優勝チームはベトナム出身者チーム「のぼる」。東広島マリリア親善賞(MPV)を同チームのチュン ナックイさんに授与



パネル展示の一部（1階ロビー）



東広島市国際交流フットサルリーグ、  
マツダ会杯

## 10 メキシコ選手団との交流

(1) 概 要 メキシコ選手団（レスリング・ゴルフ）と多くの市民が、スポーツや文化活動等を通じて交流し、国際理解の促進や多文化共生のまちづくりの推進に資する機会とする。

- ▽ タコス、お好み焼き作り
- ▽ 美酒鍋など東広島ならではの料理を囲んでの夕食会
- ▽ メキシコ選手と市民の混合チームによる運動会

(2) 対 象 者 メキシコ選手団（レスリング・ゴルフ）、国際交流に興味がある市民

(3) 場 所 東広島芸術文化ホールくらら、賀茂鶴酒造壱壺号蔵、ひろしま国際プラザ

(4) 実施回数 4回

(5) 参加者数 計 メキシコ選手団 39名、一般参加者等 205名



## 11 人権フェスティバル

(1) 概 要 市民の人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権尊重意識の高揚を図る。

テーマ：外国人の人権・多文化共生  
～色んな国の言語や文化を体験してみよう～

(2) 対 象 者 小学生以上

(3) 実施状況

日 時	平成 31 年 12 月 8 日（土） 13:00~16:30
場 所	東広島芸術文化ホールくらら
参 加 者	681 名
内 容	料理教室（外国のおやつづくり）、民族衣装着付け体験、外国の絵本読み聞かせ、ワークショップ（ミニ万国旗作り、手書き国旗缶バッジ作り）等を開催



## 2 国際相互理解促進事業

### 【目的】

日本文化・外国文化の相互理解を促進することで、グローバルな視野を持ち、文化の多様性を受容できる国際人材の養成に寄与する。

#### 1 ワールドクッキング教室

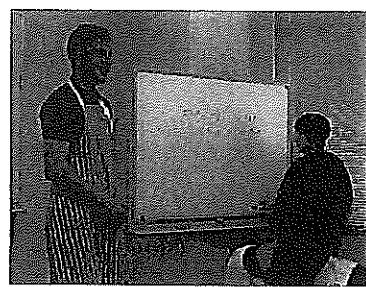
- (1) 概要 海外の料理をテーマとした料理講習会を開催する。講師は地域に暮らす外国人住民に依頼し、外国人住民の社会参画への機会とする。
- ▽ 講師の母国の料理紹介および調理を通じた交流
  - ▽ 講師の母国文化、社会事情の紹介
- (2) 実施回数 20回
- (3) 実施状況 テーマ国：アゼルバイジャン、中国、カンボジア、キルギス、シリア、イタリア、マラウイ、フィリピン、スリランカ、レソト
- (4) 受講者数 延べ345名



キルギス料理



スリランカ料理



アゼルバイジャン料理を試食後  
お国紹介を聞く

#### 2 広島平和学習

- (1) 概要 平和記念公園、平和記念資料館、原爆ドームなどへの訪問や講義を通じて、広島の復興の歴史や平和の尊さについて学ぶための研修を実施する。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員など
- (3) 実施回数 23回
- (4) 参加者数 計339名
- (5) 行程 平和記念資料館見学  
「平和都市ヒロシマの歩み」（講義）又は「被爆体験」  
平和記念公園見学  
(原爆ドーム、慰靈碑、原爆の子の像、爆心地など) など



講義／平和都市ヒロシマの歩み



平和記念公園見学

### 3 日本文化体験教室

- (1) 概 要 伝統的な日本文化である茶道・華道・着付け・書道等を体験する教室を開催することで、日本文化に対する興味・関心を喚起し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対 象 者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 場 所 ひろしま国際プラザ 研修室・和室 等
- (4) 実施回数 59回（着付け18回、茶道12回、華道10回、折り鶴アート6回、書道5回、お好み焼き体験4回、日本料理体験3回、邦楽体験1回）
- (5) 参加者数 計1,054名



折り鶴アート体験



浴衣の着付け体験

### 4 宮島ツアーアクティビティ

- (1) 概 要 広島を代表する文化遺産である宮島への訪問を通じ、日本の歴史・文化に対する理解を促進し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対 象 者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 実施回数 2回
- (4) 参加者数 計71名



大鳥居



弥山

## 5 ホームステイ・ビジット

- (1) 概 要 日本人住民と生活を共にする体験を通じ、研修員の日本の生活・習慣・文化に対する興味・関心を高めるとともに、受入家庭の国際交流・異文化理解への意欲を高める。
- (2) 対 象 者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員
- (3) 実施回数 30回
- (4) 参加者数 計 299名



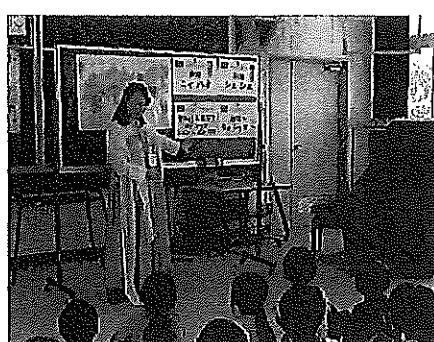
ホームビジット



団体ホームビジット

## 6 出前講座

- (1) 概 要 在住外国人と日本人住民との交流。日本人住民からの申し込みに応じて随時開催し、日本人住民の国際交流を促進し異文化理解を高める。
- (2) 対 象 者 東広島市に在住する日本人住民
- (3) 場 所 申し込み者が提供する場所
- (4) 実施回数 3回
- (5) 参加者数 計 61名



### 3 地域交流等事業（研修員参加型）< J I C A 受託事業 >

#### 【目的】

JICAが実施する研修員受入事業によりひろしま国際プラザに滞在する研修員と地域住民が直接交流できる場を創出し、地域住民の開発途上国・地域及び国際協力に対する理解を促進する。

#### 1 世界まるごと体験デー

(1) 概 要 体験ブースやクイズラリー等を通じ、日本人・外国人が相互に文化を紹介する国際交流イベントを開催する。

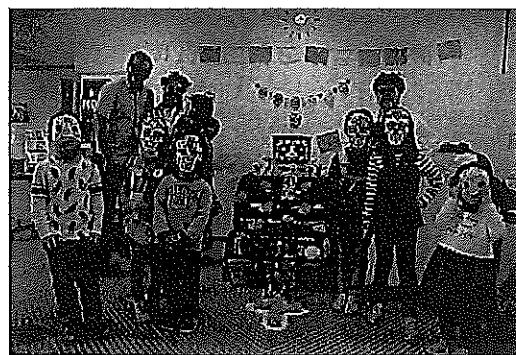
- ▽ 体験ブース（世界の小物の手作り体験、世界の遊び体験、民族衣装試着、外国人へのインタビュー、その地域を知るクイズなど）
- ▽ 外国語の絵本の読み聞かせ、外国語新聞・雑誌などのリサイクルフェアなど

(2) 対象者 国際交流に興味を持つ日本人・外国人住民  
ひろしま国際プラザに滞在する研修員

(3) 場所 ひろしま国際プラザ

(4) 実施状況

日 時	平成 30 年 11 月 3 日（土） 10:00～14:00
参 加 者	研修員 24 名、一般参加者 300 名、ボランティア等 53 名
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・文化体験 体験ブース（カリンパ作り、名刺作り、メキシコ死者の日のお面作り、つないでみたらどこの国、マラウイ・フィリピン・インドネシアの遊び体験など）を設置</li><li>・新聞・雑誌のリサイクルフェア（情報センター・図書室） 所蔵期間の経過した外国語新聞・雑誌を無料で配布</li><li>・世界の食文化の体験 レストランで世界各国料理をバイキングで提供</li><li>・民族衣装の試着</li><li>・世界旅行クイズ</li><li>・人形劇&amp;絵本の読み聞かせ</li><li>・その他 参加型のイベント～外国人や青年海外協力隊員 OB・OG にインタビュー HIP パスポート～体験ブースを限なく回ってスタンプを集めるゲーム など</li></ul>



## 2. 国際理解講座「ねえ聞いて！わたしのお国自慢」

- (1) 概 要 研修員が母国の地理・社会・文化事情等を紹介する、国際理解促進のための講座を開催する。
- ▽ パワーポイントによるプレゼンテーション、クイズ、外国語のあいさつ・日常会話の紹介、フリートークによる交流など
- (2) 対 象 者 開発途上国・開発教育に興味を持つ日本人・外国人住民
- (3) 場 所 竹原市東野公民館
- (4) 実施回数 1回
- (5) 参加者数 研修員 6名、一般参加者等 43名
- (6) 実施状況

日 時	平成 31 年 2 月 9 日 (土) 13:30~15:35
場 所	竹原市東野公民館 (竹原市東野町)
参加者	研修員 6 名、一般参加者 43 名
テーマ国	お国紹介 (ガボン、コートジボワール、ブルキナファソ、マダガスカル)



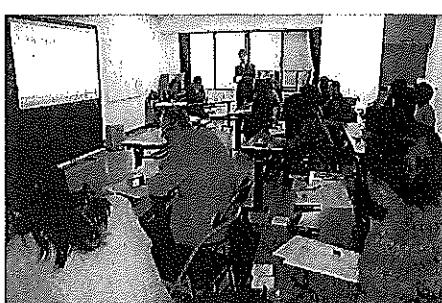
## 3. JICA研修員と話すHIROSHIMAピーストーク

- (1) 概 要 ルワンダ、フィリピン、シリア等、紛争経験国からきた長期研修員等が講師を務め、広島市民向けに国の概要、過去の出来事と現在の様子、広島での思い出について紹介する。
- 市民と研修員の対話、および参加した市民同士が平和について語り合う時間を設ける。

▽ パワーポイントによるプレゼンテーション、フリートークなど

- (2) 対 象 者 開発途上国・開発教育に興味を持つ日本人・外国人住民
- (3) 場 所 広島市竹屋公民館
- (4) 実施回数 1回
- (5) 参加者数 研修員 2名、一般参加者等 21名
- (6) 実施状況

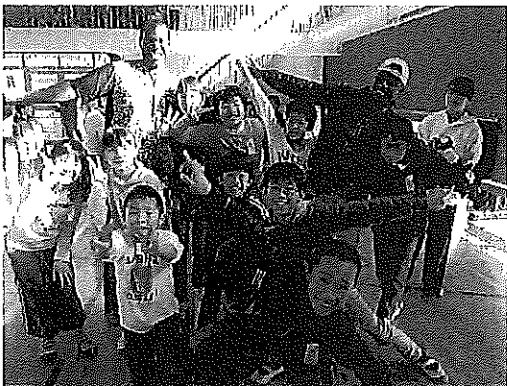
日 時	平成 30 年 12 月 1 日 (土) 10:00~12:00
場 所	広島市竹屋公民館 (中区宝町)
参加者	研修員 2 名 (アフガニスタン出身)、一般参加者 21 名
テーマ国	・研修員の紹介 ・研修員によるお国紹介 ・研修員によるアフガニスタンの歴史や現状説明 ・小グループでのディスカッション



#### 4 学校訪問

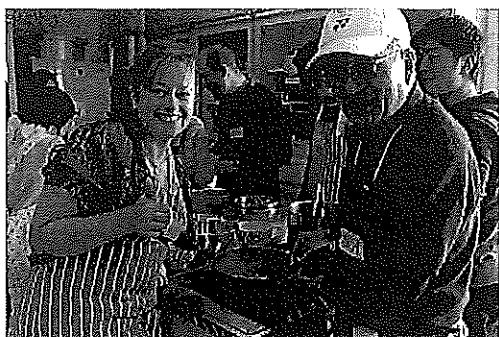
- (1) 概 要 授業や課外活動への研修員の参加・交流を通して、日本人児童・生徒が開発途上国や異文化理解について興味・関心を持つ機会とともに、研修員が日本の教育・文化事情について理解を深める機会とする。
- ▽ お互いの文化・社会事情等について相互に紹介する。
- ▽ お互いの伝統的な遊び等を紹介し、実演を通して交流を深める。
- (2) 対 象 者 開発途上国・開発教育に興味を持つ中国地方の小・中・高等・特別支援学校
- (3) 実施回数 6回 6校
- (4) 参加者数 計 研修員 56名、児童・生徒・教員等 569名
- (5) 実施状況

第1回	平成30年9月28日（金）	広島県立西条農業高等学校
第2回	平成30年11月5日（月）	広島県立加計高等学校本校・芸北分校
第3回	平成30年12月5日（水）	広島市立戸坂小学校
第4回	平成31年2月13日（水）	広島県立広島商業高等学校
第5回	平成31年2月18日（月）	広島県立広島北特別支援学校
第6回	平成31年2月18日（月）	広島県立瀬戸田高等学校



#### 5 クッキング交流会

- (1) 概 要 研修員の母国料理の紹介及び調理、食事と共に体験を通して、地域住民との異文化交流を推進する。研修員母国の「食」を中心とした文化紹介等を行う。
- (2) 対 象 者 外国料理・文化に興味を持つ日本人住民
- (3) 日 時 平成31年2月2日（土）
- (4) 場 所 ひろしま国際プラザ
- (5) 実施回数 1回
- (6) 参加者数 研修員 9名、一般参加者等 17名



## 6 東広島地域のまつり等への参加

(1) 概 要 研修員が地域コミュニティ等の主催するまつり等に参加し、地域住民と交流を深める。

- ▽ とんどへの参加
- ▽ 日本と研修員母国の文化・習慣・社会事情等の紹介
- ▽ 外国語のあいさつ・日常会話の紹介

(2) 対 象 者 国際交流に興味を持つ日本人住民

(3) 場 所 御園宇小学校

(4) 実施回数 1回

(5) 参加者数 研修員 47名、一般参加者等 463名



## 20 國際協力情報の収集・提供事業 (ひろしま国際プラザ情報センター・図書室等運営事業)

### 1 目的

海外からの研修員や県民等に国際協力等の情報を提供するとともに、各種の相談に応じる。

### 2 事業概要（平成 9(1997)年度開始）

#### (1) 情報センター・図書室の運営（平成 9(1997)年 4月 1日開室）

業務：日本語学習教材や国際協力に関する図書等の配備（蔵書数 14,578 点）  
ひろしま国際プラザ滞在の研修員や外国人、県民を対象とした相談。

#### (2) ホームページによるひろしま国際プラザ情報等の提供。

#### (3) 平成 21(2009)年 4月から図書室内に日本文化理解のための展示を実施。

#### (4) 平成 22(2010)年 5月から研修員と一般向けにミニ折り紙レッスン開始。

#### (5) 平成 24(2012)年 4月からツイッター、5月からフェイスブック開始。

11月から図書等の一般への貸出開始。

#### (6) 平成 25(2013)年 Wi-Fi 環境の整備開始。

#### (7) 平成 27(2015)年 4月に絵本専用の部屋「絵本の森」をオープン。

### 3 平成 30 年度実績

情報センター・図書室の運営（開館日数：304 日）

休室日：毎週日曜日、12月 29 日～1月 3 日（蔵書整理等のため、別途年 3 日間休室）

開館時間：平日 10:30～12:30・13:30～19:00、土祝日 10:30～19:00

#### (1) 情報センター・図書室来室者数

区分	一般(人)	宿泊研修員(人)	計(人)	一般比率(%)	研修員比率(%)
総 数	6,457	860	7,317		
1 日平均	21.2	2.8	24.1	88.2	11.8

#### (2) 情報センター・図書室相談・問合せ件数

内 容	一般(件)	宿泊研修員(件)	計(件)	一般比率(%)	研修員比率(%)
1 センタ一事業・研修等、施設利用・案内	74	23	97	76.3	23.7
2 国際交流・協力 NGO, ポラティア	7	0	7	100.0	0.0
3 教育・学習・語学・留学等	6	0	6	100.0	0.0
4 異文化理解 (ホーリー・文化交流折り紙等・行事・催し)	26	42	68	38.2	61.8
5 生活一般 (医療・公共交通・観光・交通・宿泊・レンタル他)	3	13	16	18.8	81.2
6 その他	12	0	12	100.0	0.0
計	128	78	206	62.1	37.9

#### (3) 蔵書購入 平成 30(2018)年度実績：図書 279 冊、CD 14 枚、DVD 9 本

#### (4) リサイクルフェアの実施

平成 30 年 11 月 3 日、平成 31 年 3 月 2 日 開催

来室者数：591 名（内研修員数 15 名）

#### (5) 読み聞かせの実施（絵本で楽しむ外国語）

平成 30 年 6 月 16 日 開催

来室者数：33 名

平成 30 年 8 月 18 日 開催

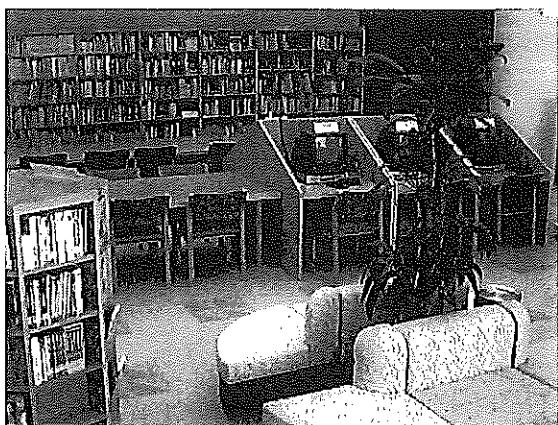
来室者数：8 名

(6) 利用者数、貸出数

(参考) 過去の実績

(単位:人、件)

区分／年度(平成)	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
利用者総数	5,051	6,668	8,441	8,849	7,317
うち一般利用者数	4,208	5,289	7,040	7,514	6,457
うち宿泊研修員利用者数	843	1,379	1,401	1,335	860
相談・問合せ件数	530	733	480	327	206
貸出数(図書、雑誌、AV合計) *	3,938	5,422	7,616	7,341	7,654



(情報センター・図書室)



(リサイクルフェア)



(絵本で楽しむ外国語)

## 21 NGOの人材育成・情報提供事業

### 1 目的

地域レベルでの国際協力に対する県民理解を深めながら、本県の国際化の貢献に寄与する草の根の国際協力・国際貢献活動を行う人材の育成を図る。

また、NGO交流室を活用し、NGOの活動や情報提供を推進する。

### 2 事業概要

- (1) 「草の根国際協力活動支援事業」：県内のNGO活動を支援するため、「草の根国際協力基金」を創設（平成10（1998）年度）し、県内NGO団体の活動を助成。  
平成26年3月にピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会から寄附を受け、支援を拡充。
- (2) NGO交流室の運営（平成9（1997）年度開始）：NGO交流室を活用し、県内外のNGO活動や情報収集・提供を推進

### 3 平成30年度実績

- (1) 草の根国際協力活動支援事業

(収入) 寄附金額実績	29年度繰越	11,702,505円
	30年度実績	0円
	計	11,702,505円
(支出) 助成金額等実績	30年度実績	5,765,420円 (うち助成金5,703,475円)
残額	翌年度繰越	5,937,085円

（平成30年度助成事業）

- ① 担い手育成事業

団体名	事業内容	実施場所	助成額(円)
広島ベトナム平和友好協会	ベトナムについての理解を深めるとともに、同協会が行っている支援プログラムへの理解を深めるため、ベトナムに関する講座等の開催事業	東広島市	102,611
フィリピン人労働者を支援する会	外国人の相談・日本語支援活動の実践者を育成するため、外国人労働者に関するセミナー等開催事業	広島市等	84,364

(2) 国際協力事業

団体名	事業内容	実施場所	助成額(円)
特定非営利活動法人 日本パラオ協会	パラオの生活習慣病予防のため、小学校の給食改善のための必要な機器を整備する事業	パラオ	810,000
わらうすがた	カンボジアの体育教育向上のため、現地での体育講習会の開催や教員を日本に招き保健体育の研修の実施	カンボジア	196,500
特定非営利活動法人 ESA	ミャンマーの学校におけるトイレの劣化・不足を解消するため、トイレ・浄化槽の建設事業	ミャンマー	730,000
特定非営利活動法人 ピースウインズ・ ジャパン	東ティモールの産業振興のため、コーヒーの品質管理体制強化による生産者の支援事業	東ティモール	1,600,000
特定非営利活動法人 IMAGINUS	インドの路上で生活する女子児童の定住化を目指した親の所得向上プログラムとして、職業訓練センターの開設・運営事業	インド	580,000
特定非営利活動法人 NGOひろしま	カンボジアにおいて、健診・感染症予防などの健康教育、スポーツ・絵画指導、教員養成校での口腔保健指導を実施	カンボジア	1,600,000

(2) N G O交流室利用状況

利用者数	掲示申込数	団体ファイル設置数
339人	491件	50団体 (市町村広報を含む)

(参考) 過去の実績

(単位:円、人)

事業区分／年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30
資金協力	草の根国際協力基金(収入)	27,271,290	0	0	0	0	0
	草の根国際協力助成(支出)	0	2,791,719	2,704,884	4,193,832	5,597,229	5,703,475
情報収集・提供		NGO交流室利用者数	708	248	498	584	583
注:利用者数は延べ人数							

## 22 ひろしま国際プラザ施設管理運営事業

### 1 目的

広島県立広島国際協力センターと独立行政法人国際協力機構(JICA)中国センターの合築施設である「ひろしま国際プラザ(HIP)」を、両者からの委託により一体的に管理し、中四国地方の国際協力事業の拠点施設として効果的に活用されるように総合的に運営を行う。

### 2 事業概要

- (1) 広島国際協力センターの管理運営（平成26(2014)年度～平成30(2018)年度 第3期指定管理者）
- (2) JICA中国センターの管理運営

### 3 平成30年度実績

- (1) 研修・講習会実績

(単位：コース、人)

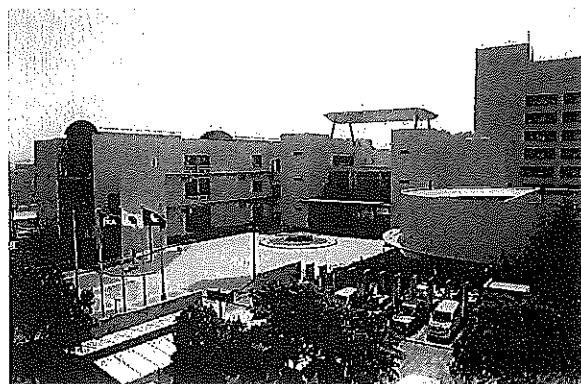
区分	コース数	人数	備考
広島県研修	9	137	日本語高等研修、海外日本語教師養成研修、JETプログラム日本語・日本文化研修等
JICA研修	43	298	課題別研修、国別研修、青年研修、日系研修等
HIC独自研修	24	381	青少年等日本文化体験研修、企業等国際化研修、グローバルレーンズ・プログラム等
その他	20	445	企業、大学、協同組合等が実施する国際化研修等による施設利用
計	96	1,261	

※ 人数は研修員のみ。講師・引率等は除く。

- (2) 宿泊室利用実績

(単位：人泊、%)

区分	平成30年度 利用者数(A)	平成30年度 利用率	平成29年度 利用者数(B)	平成29年度 利用率	増減率 (A/B)
広島国際協力センター	14,080	52.8	14,113	53.0	99.8
JICA中国センター	9,834	56.1	9,650	55.1	101.9
計	23,914	54.1	23,763	53.8	100.6



ひろしま国際プラザ